

北海通札
甘辰种
以因之

親



ヤ



大阪市西區南堀江通壹丁目

鋼商 ~~會~~ 勝本忠兵衛商店

勝本忠兵衛

電話番號 西區一七六二番
發電番號 (カッ) 又ハ(カ)
振替口座 大阪四五〇五八番
取引銀行 株式加島銀行南支店

大正八年五月廿二日

此の世に生るるもの著れお
ふに、針を婦中睦お
母親も大いさ、入る様
婦の御心もあふた御心
蓮のの活能くえ去る高
の嬉然たるも贈神を儀
あし一日静養仕、可也
日大なるお福ある男中改
は作事従者起人など
天候は雨の多し地方有
生、ふと連日強し拂
この世に生るるもの著れお
千株竹、ささぎも
お男も一糸を余に遣
おわりの事もこれに之
此の世に生るるもの著れお

千株作て置ておるも初
お男を一番を余と遣
かたうと申されぬ之と
ツ生の分七千貫地年
生未一取而女ふこ何
ふふかばるふか出た
三月十日の分先七段こ
又一回拂上る月廿の
通を費表のふり決
定し給に大右取不相
望連日掲載事つと
店中の事白を二と酒
改申の上勝手お男と名見
茶の打合を御座候
男を今年分御座の事
小ツ生をのふと今年中
申上る分五千と存

改申の上陸お弔い金
奉りしお打合せに御座り
男を今夕御乗の客
小川をとりふりて今更中
申しにふりし五千と有
先をたゞ報せり
立月を七ら報せり
お弔い金

お白老の足色

此一徹無垢を
亦四日おらふけり
たふ不念候お及無
編入まぬ
造り地のお
後を以て
おむれお
ここのお
お

少老及後

此一微無端者也

亦由日有らふけり眼の

為不念候再及無一

編入は成りて其の

意は此の如く不念無

後を以て其の如く此

はむれは其他の如く

こゝろを以て其の如く

るを其の如く其の如く

此の如く其の如く其の如く

たらん其の如く其の如く

ま婦徳禮を行く